

第10回トラック輸送における取引環境・労働時間改善長野県地方協議会

議事概要

1. 日時

令和7年12月19日（金） 13:30～

2. 場所

長野県トラック会館

3. 委員

大上 俊之	信州大学 名誉教授
平林 靖久	一般社団法人長野県経営者協会 専務理事
井出 康弘（欠席）	長野県中小企業団体中央会 専務理事
鈴木 一郎	マルコメ株式会社 生産本部 生産サポート部長
小池 経夫	全国農業協同組合連合会長野県本部総合企画部 部長
太田 忠文	日本通運株式会社 長野支店長 公益社団法人長野県トラック協会 副会長
高木 真	株式会社長野フロー 代表取締役 公益社団法人長野県トラック協会 理事
町田 正樹（欠席）	全日本運輸産業労働組合 長野県連合会 書記長
古畑 善美	厚生労働省 長野労働局 労働基準部監督課長 （局長 三浦 栄一郎 代理）
猿谷 克幸	国土交通省 北陸信越運輸局 自動車交通部長 （局長 佐橋 真人 代理）

[順不同、敬称略]

4. 議題

- 1) 各省庁による取引環境と長時間労働の改善に関する施策について
- 2) トラック運送事業者に対する労働時間等説明会における周知事項について
- 3) 取引環境・労働時間に関する現場の実態について
- 4) 長野県地方協議会として行う今後の取り組み

5. 概要

1) 及び2) について

事務局の長野運輸支局及び長野労働局より資料に沿って説明。

(主な意見)

- 適正原価はどのような基準で決まるのか。車両内容、運ぶものによって原価が変わってくる。原価は個々によって異なるが、それを明らかにして行う商売は聞いたことがない。
- これまでのトラック業界では、働いた分給料も良かったが、2024年問題で労働時間が減り、給料も下がるため、ドライバーが辞めていく。
- 荷主側としても、運送会社から運べるトラックがないとの相談も受けており、ドライバー不足を感じている。物量が増えている中で、労働時間等の上限を制限され、厳しい状況。
- 青果物は3日以内に市場に届けなければいけないため、気候の状況も含め計画的な配送が難しい。今の課題として、国が推奨する標準パレットだと、青果物の大きさ等が違うため、それぞれの品目ごとパレットに乗るよう試行錯誤している。中には現実的に標準パレットに集約が難しい品目もある。

3) 取引環境・労働時間に関する現場の実態について

日本通運株式会社 長野支店長 太田委員

株式会社長野フロー 代表取締役 高木委員

マルコメ株式会社 部長 鈴木委員

全国農業協同組合連合会長野県本部総合企画部 部長 小池 委員

(以上の4名より現場の実態について報告)

4) 長野県地方協議会として行う今後の取り組み

- 来年以降協議会の取り組みとして、一般消費者向けに再配達削減の周知活動を検討している。

以上